



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育なう

No.12

2026年3月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 208)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。QRコード→



年度末のこの時期、今年を取組を味わいましょう。

数字と手応え(エピソード)を大切に

年度末は、この一年間の成果を確かめ、味わいたいものです。

「あの取組はよかったなあ!」「ここは引継いで伝えておいた方がいいかな!」といったことを明確にしておく、取組の意義もより感じられるのではないのでしょうか。

今回は、手応え(エピソード)として、三行詩の取組を紹介します。

令和7年度も三行詩は、県内各地から【小学校作品:4,322点、中学校作品:3,815点、一般作品:256点】応募がありました。(岐阜県PTA連合会)

夏休みの課題として取り組まれた方、家族みんなで作品作りをされた方、いろいろかと思えます。各単位PTAでの第一次審査を経て、9月中旬までに県P連に846点の作品が寄せられました。そして、表彰選考委員会等の厳正な審査を経て、岐阜県優秀作品が23点選ばれHPにて紹介されました。

東濃地区からも4名の方の作品が紹介されています。どの作品も親子のつながりの深さ・温かさ・すばらしさに気付かせてくれる作品です。

家ぞくみんなで

ぎゅーしたら

体もこころもポッカポカ

多治見市立北栄小学校 2年 太田 帆奏さん

うなるぜ!!

週一オープン

おやじのレストラン

多治見市立笠原小学校 4年 加藤 晴悠さん

抱っこ抱っこ とせがまれて、
大変だった時期は 通り過ぎ、
今は 抱っこしたくても させてはくれない
我が子の成長

中津川市立東小 PTA 大石 祐三子さん

「そんなん やってみんとわからんやん」
そりゃそうだ 信じてみよう
わが子の挑戦

多治見市立北陵中 PTA 玉井 美智子さん

来年度も「子育て・親育ち」を楽しみ、よりよい親子のふれあいを!

◇ どんな家庭教育学級を行うとよいのでしょうか ◇

共働きの家庭が増えた現在、保護者の休みが一回ですむような工夫をしている園や学校が多くあります。例えば、授業参観日＝授業参観＋家庭教育学級親子講演会＋サロン型懇談会
→ 在宅の取組へ（「話そう！語ろう！わが家の約束」運動）・・・といったように

- ・子どもの学ぶ姿を参観してもらい、学校の様子を見てもらう
 - ・親子で話を聞いて家庭で話し合い、親子のふれあい絆づくりに役立ててもらい
 - ・親の悩みをサロン型で交流し、子どもたちを温かく見守る環境づくりを進める
 - ・在宅の取組を行い、よりより生活・学習習慣づくりを行う
- 親として自信をもって子育てに向き合い、健やかな成長につなげます。

最近の家庭教育学級で人気のある、学びたい内容を5つにまとめました。

1 子どもの心理とコミュニケーション

アンガーマネジメントや、子どものやる気を引き出す声かけ、思春期の関わり方など、「心の理解」は常に高い関心を集めます。

2 子どもの安全と情報モラル

ネットいじめや SNS トラブルの予防、スマートフォンの適切な持たせ方など、現代の課題に即した学びが求められています。

3 親のリフレッシュと体験学習

クッキングやヨガ、ハンドメイドなどの体験型は、保護者同士の交流を深め、リフレッシュできる場として人気です。

4 子どもの健康と食育

給食参観・試食会などの機会をとらえて、野菜の調理法や栄養学、規則正しい生活習慣の定着など、身体の成長を支える基礎知識が注目されています。

5 ライフスキルと将来の準備

金銭教育（お小遣いの渡し方）やキャリア教育など、自立した大人になるための具体的なスキルアップ講座も選ばれています。

他にも東濃地区での家庭教育学級の内容は多岐にわたります。多治見市で助産師さんを講師とし、幼保小中で展開される「いのちの授業」の取組、土岐市の防災と関連付けた歯科指導の取組、瑞浪市の公民館活動と連携した家庭教育学級、恵那市の地域（青少年育成・社会福祉協議会等）と連携した家庭教育学級、中津川市の学力アッププログラムを基盤にした幼保小中の在宅の取組など、各校、各園で家庭教育を支援する取組が展開されています。

こうした実践事例を学べる機会が「東濃地区家庭教育学級リーダー研修会」です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。参加申し込みは、各市の担当課へお願いします。

企業内家庭教育研修(講話・演習形式)

「中津川市職員スキルアップ研修(女性活躍推進)」

日時 令和7年12月19日(金) 13:30~16:30

場所 中津川市健康福祉会館多目的ホール

講師 有限会社クレオ代表取締役 女性活躍推進アドバイザー 篠田 寛子 さん
恵那県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職 大島 明浩

参加者 中津川市役所課長級1年目、係長級4年目 職員24名



女性活躍推進について学び、さらに働きがいのある職場づくりへ



グループ・ワークを活用し「学び」を深めます

中津川市は毎年職員のスキルアップを目指して「女性活躍推進」をテーマに、課長級、係長級の皆さんが研修して見えます。講師の篠田さんは、ハラスメント予防、アサーション、レジリエンスなどのテーマにも詳しい方です。

日頃から行政職として市政を推進している課長、係長の皆さん方が熱心に講話を聴き、グループワークを行いました。働きやすく、かつ働きがいのある職場にするためには何が必要かを考える機会となりました。自分のキャリア・ビジョンを描き、理想の組織にするために自分が実践できることを学びました。

研修の最後に、専門職から本日の学び「女性活躍推進」の視点を生かした「家庭教育」についてお話させていただきました。県で推進している事業を紹介し、「地域全体で家庭教育を支援する」ことの大切さをお伝えしました。

日頃から職務に邁進してみえる皆さんです。職場と家庭の安定が自らの仕事も生活も充実させるポイントになると実感されたことと思います。

女性活躍推進について(概要)

part1 女性活躍推進の重要性

ワーク 働きやすさをさらに進めるには?

part2 ダイバーシティ・マネジメントの環境を整える

ワーク リーダーの一言が職場を変える

part3 お互いに活かし合うコミュニケーション

【心理的安全性と自己効力感】

ロールプレイワーク 「〇〇さんをリーダーに推薦する」と仮定の課題を設定し、チームとして話し合いを実演

Part4 キャリア開発

みんなに働きがいをもってもらうには

☆今後どう活かしていくか



篠田さんは、中津川市で9年連続、講師をお勤めです。

家庭教育を実践する日ニュースレター11月号「体の声を聴いてみませんか」はお薦めです。自分の体の様子を把握することは「安心を育てるスイッチ」になります。私は「腎臓の位置に手を当ててみます」がお気に入りです。



家庭教育推進専門職による家庭教育講話の様子

女性活躍推進と家庭教育のアンケートにご協力いただきました。

- 1 女性活躍推進法(平成15年)
だいたい知っている 4% 知らない 96%
- 2 岐阜県家庭教育支援条例(平成26年)
だいたい知っている 0% 知らない 100%
- 3 現在、子育て中
ではない 12% 真っ最中 58% 終了しました 30%
- 4 家庭教育は
大切 100% 大切ではない 0%
- 5 最近、「家庭の教育力」は
低下している 50% かわらない 42% 高まっている 8%

岐阜県家庭教育支援条例の認知度は、とても低いという結果になりました。さらなる啓発に努めなければなりません。最近、「家庭の教育力」が低下していると感じている方は約半分の方です。今回の回答では、現在子育て中の方ほど、そう感じる傾向にあることがわかりました。

【女性活躍推進の視点を職場・家庭・地域へ】

・篠田さんは「女性活躍推進は、女性だけを支援するためのものではありません。だれもが社会で活躍できるように互いを尊重する風土が醸成される社会であることが大切です。」と言われます。互いを尊重する姿勢は、家庭においても大切になってきます。

・ダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(包括)、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏った見方)などの見方・考え方を意識することで、働きがいを高める職場づくりが可能となります。

この示唆は明るく豊かな家庭づくりの視点にもなります。「兄弟姉妹を比べない。男は理系、女は文系など無意識に決めつけない」など・・・

県でも出前授業などを実施しています。家庭教育学級などでもぜひご活用ください。

男女共同参画について まなびませんか？

企業

職員研修

学校

生徒や先生、保護者

NPO

地域の方々に

…など

専門の講師を 無料で派遣します！

※講師費及びそれに伴う旅費に限る

研修テーマ例

- 男女共同参画・ジェンダーの基礎知識
- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)
- DV・デートDV、ハラスメント
- 多様な人材が活躍できる組織づくり
(ダイバーシティ)
- ライフデザイン、マネープラン
- 生活の中の思い込み
(アンコンシャスバイアス)
- ジェンダー平等教育
- 地域づくり など…



男女共同参画社会とは…？



職場

- ・人材の多様性と活用
- ・働きやすい環境の整備
- ・イノベーションの促進



家庭

- ・家族の絆の強化
- ・子どもの健やかな成長
- ・ライフプランの柔軟性



地域

- ・地域力の向上
- ・防災・安全対策の充実
- ・孤立の防止と支え合い

「男女共同参画ってどういうこと？」

性別にとらわれず自分らしく生きるとはどういうことか、
わかりやすく解説します。

生徒への講義のほか、先生、保護者向けの講座への
講師派遣も可能です。

【お問い合わせ先】

岐阜県 子ども・女性部
男女共同参画推進課 男女共同参画係
TEL 058-272-1111(内線3575)
E-mail c11234@pref.gifu.lg.jp